

# 埼玉県親善大使レポート Oct.

## ＊□メキシコのアレコレ＊□

みなさんは「メキシコ」という国の名前を聞いてどんなイメージが浮かびますか？ タコス、サボテン、大きな帽子にポンチョのおじさん、などなど様々な思い浮かぶと思います。今回のレポートでは、私が直に感じたメキシコという国とその国の人々についてご紹介したいと思います。

やはり、この国に来て一番感じるのは人々の「おおらかさ」「小さなことは気にしない精神」だと思います。多少のことでは動じないのがメキシコ人です。

一つの有名な例として、こちらのパーティー「フィエスタ」が挙げられます。メキシコはパーティー好きな人が多く（というより嫌いな人がいない）、誕生日パーティー・ウェルカムパーティー・さよならパーティー、その他こちらの祝日に合わせて催される様々なパーティーにかなりの頻度でお呼ばれます。その数の多さもさることながら、招待された人の自由さには驚かされます。自分が招待されたフィエスタに彼氏・彼女を連れていくのは当たり前で、招待してくれた人が知らない友達なんかもそろそろ連れ、その場で「初めまして」なんてザラです。主催する人も自分の知らない人が来ても何の問題もなく歓迎してくれます。日本だったら考えられませんよね。（笑）

最近ではメキシコの生活に慣れてきて少々のことでは驚かなくなっていた私ですが、先日本当にびっくりするものを発見してしまいました。メキシコシティにはメトロブス (metrobus) という路線バスが走っています。路線バスと言ってもかなり整備されていて、バス停などではなく綺麗な駅に停車する仕組みになっています。学校へ行く交通機関として毎日このメトロブスを利用しているのですが、つい2週間ほど前から、とあるものが学校の最寄り駅に出現したのです。



何の標示がおわかりでしょうか。そうです、インフルエンザの予防接種です。駅の一部のベンチに2人の女性がスタンバイしています。注射針など諸々一式は女性が持っているクーラーボックスのようなものに入っているようです。

私が見たところ(当たり前ですが)この女性二人が注射してくれるようです。手順としては、消毒ジェルで手を消毒し、アルコールで刺す場所を消毒し、あとは一息にブスッと刺して終了です。素早いです。日本人の私からすると、インフルエンザを予防する前に何か悪い菌に感染してしまうのではないかと不安になるのですが、こちらでは、見る限り、老若男女誰も何も気にせずここで予防接種してます。これが本場の「小さいことは気にしない!」です。

暑い日に半袖を着ている私の横にダウンを着込んでいる中年女性がいるなんていうこともあり、他の人が何をしようが気にしない!というとても自由な国です。

また、とても人懐こい人が多い国だとも思います。先日などは、マフラーを巻いて座っている女の子に、「ちょっと編み物始めるからそのマフラー見せて」と急に話しかけていた中年女性がいましたが、その子は嫌な顔もせず、どこで買ったか、いくらだったかなんておしゃべりを始めていました。ここメキシコでは、日本で起きたらびっくりしてしまうような、けどはたから見ている微笑ましい光景をたくさんみかけます。

メキシコのニュースはなかなか日本まで届かないことが多いですが、長い交流の歴史を持つ両国民が互いにより近く感じられる日が来たら、と思います。